

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	企画政策課
会議名 (審議会等名)	平成30年度 第2回 嬉野市総合戦略推進委員会		
開催日時	平成30年11月26日(月) 10:30~12:00		
開催場所	嬉野市役所塩田庁舎3階 3-2会議室		
会議の公開の可否	☑ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可 の場合はその理由			
出席者	委員	戸田委員、毛利委員、鵜池委員、西川委員、熊谷委員、	
	事務局	企画政策課長(池田)、企画政策課副課長(松本)	
	その他	なし	
会議の議題	別紙のとおり		
配布資料	嬉野市まち・ひと・しごと創生総合戦略【改善】一覧表 嬉野市まち・ひと・しごと創生総合戦略【計画】一覧表		
審議等の内容	別紙のとおり		

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	企画政策課
議 題	1 嬉野市まち・ひと・しごと創生総合戦略【改善】について		
内 容	今後に向けての総合戦略の KPI 及び具体的な施策等に関する改善について、事務局より資料をもとに説明し、委員より意見聴取を行った。		
審議経過	委員	<p>基本目標① 嬉野市に住みたい・行きたい“ひと”の流れをつくる</p> <p>他市町でも電子決済導入によって、外国人観光客の売り上げが伸びたと聞く。市内の旅館等のキャッシュレス化の状況は如何か。</p>	
	事務局	<p>市内宿泊施設は、以前からカード決済等導入済の施設が多く、比較的キャッシュレス化が進んでいると考えている。ご発言のとおり、キャッシュレス化は外国人観光客対策として必須となり、今後は消費税増税に伴う電子決済によるポイント還元施策などで、国内向けにも普及していくことが予想される。</p>	
	委員	<p>電子決済の普及促進については、小規模な店舗にもカード決済やスマートフォン決済などのシステム導入が求められるが、市としての具体的な支援策は考えているか。</p>	
	事務局	<p>日本自体の電子決済普及率がまだ低く、国も重要事項として掲げている。嬉野市でも小規模店舗などへの普及が課題であり、既存のカード決済機器導入補助からスマートフォン決済等にも対応する電子決済機器導入補助へと拡充した。普及啓発も含め、さらなる利便性向上のための環境整備を県とともに後押ししていきたい。</p>	
	委員	<p>電子決済の普及促進についての KPI (数値目標) は必要ないか。</p>	
	事務局	<p>総合戦略においての具体的な施策ごとに目標達成を目指すことはもちろんだが、今回の改善は、既設定の KPI 達成のために実施する具体的な施策の追加と捉えている。今後、総合戦略を見直す中で新たな KPI とすべきかどうかは担当課とも検討していきたい。</p>	

委員	<p>数値目標が早期に達成される場合の上方修正やその逆の下方修正など KPI の数値の変更（修正）はどのように考えられているか。</p>
事務局	<p>目標が早期に達成された項目については、担当課と協議しより高い成果を目指し上方修正する場合がある一方、何らかの要因で目標達成が困難となった項目についての下方修正はその都度行わないことを基本としているが、本委員会でご協議いただきたい。</p>
<p>基本目標② 嬉野市で働きたい“しごと”をつくる</p>	
委員	<p>“うれしのブランド”づくりと“稼ぐ”農業への取組みのなかで KPI に掲げている酒造用米の作付面積の現状はどのくらいか。</p>
事務局	<p>総合戦略策定時の基準値が 117ha で、平成 27 年度末が 139ha、平成 28 年度末が 115ha、平成 29 年度末が 102ha となっている。ここ 2 年は減少傾向にある。</p>
委員	<p>今回、本項目については、実需者の要望に対して作付量を調整しているために下方修正する提案となっているが、策定時の数値目標は、基本的にその都度下方修正せず、数値減少や目標未達成については、最終年度に検証していくことではどうだろうか。</p>
委員	<p>酒米作付面積の KPI は、今後の販路拡大も考慮しての数値目標をするならば、下方修正せずに当初目標のままとすべきとも考える。</p>
事務局	<p>本項目についての KPI 設定については、担当課と再度協議したい。基本的に本委員会でご協議いただいたように、策定時の数値目標をその都度下方修正せず、数値減少や目標未達成については最終年度に評価・検証していくこととしたい。</p>
委員	<p>うれしの茶の販路・需要開拓の KPI としている海外販路開拓に向けた商談成立件数の現状はどのくらいか。</p>
事務局	<p>平成 29 年度末実績として、総合戦略策定以降、累計 7 件となっている。国としては、カナダ、アメリカ、スウェーデンなどで、担当課からは、今後、シンガポール、台湾などをターゲットとしているとのことであった。</p>

		<p>基本目標④ 嬉野市で安心して暮らしたい“地域”をつくる</p> <p>委員 自助・共助・公助の「補完性の原理」の一般的な考え方でいけば、今回の改善の文言が正しいのではないかと考える。</p> <p>事務局 総合戦略策定時の防犯・防災の考え方として、大きく「個人・地域が行うこと」、「行政が行うこと」に区分していた経緯があり、このような文言となっていた。地域コミュニティを中心とした地域での防災意識の高まりの中、一般的な自助・共助・公助の考え方に改めた。</p> <p>委員 空き家対策の推進について、表記は「空き家」か「空家」に統一した方が良いと思う。</p> <p>事務局 今回の改善で、空家対策措置法の表記に合わせ、「空家」に統一することとした。</p>
その他	なし	

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	企画政策課
議 題	2 嬉野市まち・ひと・しごと創生総合戦略【計画】について		
内 容	今後に向けての総合戦略の KPI 及び具体的な施策等に関する計画について、事務局より資料をもとに説明し、委員より意見聴取を行った。		
審議経過	事務局	ご提示している資料は、市中期財政計画に挙げている事業一覧であるが、記載の事業及び事業費とも次年度において確定しているものではありません。	
	委員	空き家等を活用したお試し移住については、これからとなるのか。	
	事務局	事業開始に向け、現在、お試し移住に適した物件探しを行っている。今後、条件に合う一軒家等を市で借上げ、お試し移住事業を開始したい。	
	委員	空き家対策及び移住支援としての空き家に対するリフォーム助成制度はどういう状況か。	
	事務局	今年度、空き家に対するリフォーム助成制度を創設した。1件50万円限度としているが、まだ実績はない。対象となる空き家バンク登録には古い物件が多く、借り手とのマッチングの問題や改修費用が多額となることなどがネックとなっていると考えられる。	
	委員	田舎にいたらその良さに気付かない場合も多いと思うが、都市部から市内へ移住されたという話も聞く。また一方で、都市部へ出られた嬉野出身者が市内に所有する物件も多いと思う。移住促進や空き家バンク登録促進において、都市部在住の方への情報発信を強化してはどうか。	
委員	市内への移住促進のため、実際に移住された方に声・意見を発信するのも良いと思う。		

	<p>事務局</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>市報では移住者の紹介を掲載させていただいたことがあった。移住された方の生の声は、移住希望者への重要な情報と認識している。ご意見も参考にしながら取り組んでいきたい。移住及び空き家活用促進については、人口減少問題に対する重要な施策の一つと考えている。</p> <p>空き家バンク登録物件は売買物件か。賃貸物件か。</p> <p>どちらの物件の登録もあるが、現時点の登録は処分を考えての売買物件が多い。</p> <p>「校長先生の知恵袋事業」とはどういったものか。</p> <p>学校長の裁量により創意工夫した事業を計画し、学力向上の取り組みや自然体験・ボランティア活動・地域とのふれあい等の体験学習を通じた学校ごとの魅力ある学校づくりを推進する事業となっている。</p> <p>今回の県立高校再編などで地域の特色ある教育が失われているように思える。特に県西部地区がその傾向が顕著であるように思える。</p> <p>人口減少する中で、すべてが右下がりや小規模とならないよう、ご意見があったような移住や子育てなどの施策を充実し、未来・魅力のある地域・嬉野市を築いていければと考える。</p>
その他	なし	